

今春、水王舎の 一般書部門が

いよいよ
スタート
します!





新しい時代には 新しい船が必要だ！ 大暴れする準備はできた。

私たちは教育界を大変革しようと、小さい会社ながらも「論理エンジン」という学校改革のプログラム・教材を開発し、学習参考書においては『好きになる現代文』『システム現代文』シリーズなど、革新的な本を刊行してきました。

私たちにしかできないものをつくり続けることで世の中に貢献しようとした結果、幸いにも論理エンジンは250校近くの中学・高校で採用され、数々のロングセラーの参考書を生み出しました。

今年の4月、私たちはいよいよ一般書の世界に本格的に参入します。出版不況の昨今、小さな船で荒れ狂う海に乗り出すにはそれなりの覚悟がなければいけません。

しかし、新しい時代には新しい船が必要なのです。常識をひっくり返すもの、新しい価値観、世に問わなければならないもの、そうしたものを、一冊一冊心を込めて刊行していきます。

私たちは私たちにしかできない本をつくり続けます。ただ刊行点数を揃えるのではなく、真に価値のある本、多くの人のためになる本だけを厳選し、それらを大切に編集し、情熱を持って世に伝えていきます。

一冊の本が誰かの心を揺さぶることがあるのを知っています。一冊の本が人の人生を変えることすらあるのを知っています。だからこそ、一冊一冊心を込めて世に広めていきたいのです。

幸い、私たちの趣旨に賛同し、多くの著名な作家、新進気鋭の作家、ダイヤモンドの原石を抱えた作家の方々が集結してくださいました。ぜひ、今後のラインナップをご覧になってください。一冊たりとも、世に問う価値のない本などないと自負しています。

本は価値を生み出すものです。たとえ出版不況だったとしても、新しい時代だからこそ、新しい価値を持った本を世の中に提供し続けなければならないのです。

出版界の皆様、どうかこの小さな船の船出を温かく見守って、ご支援くださいますよう、切に切にお願い申し上げます。



2015年3月吉日

出口 汪

執筆予定陣 (順不同)

出口 汪^{ひろし}

『出口汪の論理的に考える技術』
『日本語の練習問題』

本田 健先生

『20代にしておきたい17のこと』
『人生の目的』

枘野俊明先生

『美しい人をつくる「所作」の基本』
『心配事の9割は起こらない』

ひすいこたろう先生

『名言セラピー』
『あした死ぬかもよ?』

村上和雄先生

『アホは神の望み』
『奇跡を呼ぶ100万回の祈り』

和田裕美先生

『人に好かれる話し方』
『人生を好転させる「新・陽転思考」』

山田真哉先生

『さおだけ屋はなぜ潰れないのか?』
『女子大生会計士の事件簿』

宮台真司先生

『日本の難点』
『14歳からの社会学』

田口智隆先生

『11歳のバフェットが教えてくれる』
『経済』の授業』

陰山英男先生

『百ます計算』
『学力は家庭で伸びる』

川嶋 朗先生

『人が死ぬときに後悔する』
34のリスト』

加治将一先生

『幕末 維新の暗号』
『借りたカネは返すな!』

立川光昭先生

『お金をかけずにマスコミに』
とりあげられるユダヤ式PR術』

立川談四楼先生

『談志が死んだ』
『ファイティング寿限無』

宮島賢也先生

『医者 of 私 が薬を使わず』
『うつ』を消し去った20の習慣』

池田 潤先生

『勉強の結果は机に向かう前に』
決まる』

酒井晃士先生

(和田裕美さん愛弟子の)
NTTデータNo.1営業マン』

いい女.bot先生

『いい女.book』

刊行スケジュール (4月~6月上旬予定)

4月刊

*『「最強!」の記憶術』
*『子どもの頭がグンと』
良くなる! 国語の力』
出口 汪

5月刊

*『健康法で死なないための』
42のリスト』
川嶋 朗
*『自己紹介が9割』
立川光昭

6月刊

*『人をゆるす禅の心得』
枘野俊明
*『どうせ生きるなら』
バカがいい』
村上和雄&宮島賢也

*すべて仮タイトルです。